2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目	区	分	専門	基礎分野	授業の方法		講義	CMH
科目名	ワンボードマイコン		必修/選	択σ)別	:	必修	授業時数(単位数)	30	(2)	時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 1年		学期及び	曜	寺限	前期	木曜1限	教室名	2階	PC/l	ノーム
担当教員	高瀬 和之	実務経験と その関連資格	株式会社フ	゚レンフ	プロジ	ェクトにて	、社会人向け	IoT/AI基礎知証	銭講座に	_3年間	従事。

《授業科目における学習内容》

教育用ワンボードマイコン『micro:bit』を使い、JavaScript, Pythonプログラミングと各種センサの取り扱いを学ぶ。 IoTデバイスやロボットのプロトタイピングにも用いられる小型ワンボードマイコン『Arduino』を使い、Cプログラミングによって電子回路等を制御する手法を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

試験 70% 出席 20% 平常 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

Arduinoで計る、測る、量る 「M5Stack」ではじめる電子回路 BBC マイクロビット公式ユーザーガイド

《授業外における学習方法》

授業外でもワンボードマイコンを使った工作などを行い、扱いに慣れてください

《履修に当たっての留意点》

実際に製品を開発(試作)するという思いをもって、なるべく多くのことを習得できるようしっかり取り組みましょう

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
講義実		授業を 通じての 到達目標	micro:bitプログラミングの方法が分かる		使用教材及び参考図書	
1	美習 形式	各コマに おける 授業予定	micro:bitとは	図書一式	使用教材及い参考図書 をよく読むこと	
第	講義実	授業を 通じての 到達目標	micro:bitに搭載された各種センサを取り扱うことができる		H T ** + + T < V + + T = +	
2	2 3		micro:bitの各種センサ	図書一式	使用教材及び参考図書 をよく読むこと	
第	講義家	授業を 通じての 到達目標	ブロックエディタとJavaScriptを適宜見比べて、JavaScriptの構文 に慣れる		住田松井 五78名 老园李	
3	実習形式	各コマに おける 授業予定	JavaScriptによるmicro:bitプログラミング (1)	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと	
第	講 授業を 通じての 到達目標		ブロックエディタとJavaScriptを適宜見比べて、JavaScriptの構文 に慣れる		使用教材及び参考図書 をよく読むこと	
4	実習形式	名 各コマに		図書一式		
第	第5回	授業を 通じての 到達目標	Pythonを使ったmicro:bitプログラミングの方法が分かる		使用教材及び参考図書 をよく読むこと	
5		各コマに おける 授業予定	Pythonによるmicro:bitプログラミング(1)	図書一式		

	業の法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
講義実		授業を 通じての 到達目標	Pythonを使って所望する機能を実現するプログラムを作ることが できる		使用教材及び参考図書	
6 □	2習形式	各コマに おける 授業予定	Pythonによるmicro:bitプログラミング(2)	図書一式	をよく読むこと	
第	講義実	を Multiple ができる、入出力ピンの制御ができる 大出力ピンの制御ができる			使用教材及び参考図書	
7 回	~習形式	各コマに おける 授業予定	Arduinoとは	図書一式	をよく読むこと	
第	講義実	授業を 通じての 到達目標	AD変換の仕組みが説明できる、AD変換の機能を用いたプログラムが作成できる		使用教材及び参考図書をよく読むこと	
8 🗓	美習 形式	各コマに おける 授業予定	Arduinoプログラミング (1)	図書一式		
第	講義実	授業を 通じての 到達目標	シリアルモニタ・シリアルプロッタを活用できる、シリアル通信の 仕組みが説明できる		使用教材及び参考図書	
9	~習形式	各コマに おける 授業予定	Arduinoプログラミング (2)	図書一式	使用教権及い参与図書 をよく読むこと	
第	講義実	授業を 通じての 到達目標	I2C, SPIといった通信が行える		使用教材及び参考図書 をよく読むこと	
10回	~習形式	各コマに おける 授業予定	Arduinoプログラミング (3)	図書一式		
第	義 到達	授業を 通じての 到達目標	PWM制御について説明できる、マイコンでMOS-FETをドライブ させる方法が分かる		使用教材及び参考図書 をよく読むこと	
11 回	天習 形式	各コマに おける 授業予定	Arduinoプログラミング (4)	図書一式		
第	講義実	授業を 通じての 到達目標	割り込みやsleepモードについて説明でき、使用することができる		使用教材及び参考図書	
12回	~習形式	各コマに おける 授業予定	Arduinoプログラミング (5)	図書一式	使用教的及び参考図書 をよく読むこと	
第	講 授業を通じての表 到達目を		co o o o o o o o o o o o o o o o o o o		使用教材及び参考図書	
13	実習形式	各コマに おける 授業予定	課題制作実習(赤外線リモコンを作る)(1)	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと	
第	講義安	授業を 通じての 到達目標	赤外線受信モジュールと赤外線LEDを使った学習リモコンを作る		使用教材及び参考図書をよく読むこと	
14 回	実習形式	各コマに おける 授業予定	課題制作実習(赤外線リモコンを作る)(2)	図書一式		
第	講義宝	授業を 適じての 到達目標		_	使用教材及び参考図書	
15 回	実習形式	各コマに おける 授業予定	課題制作実習(赤外線リモコンを作る)(3)	図書一式	使用教権及び参考図書 をよく読むこと	